



<目次> [発明アイデアコンテスト](#)・[ノートバー応援企画](#)・[年中組募集再開](#)・[新管理運営委員募集](#)・[永年勤続表彰式](#)
[特別授業](#)・[俳句短歌クラブ](#)・[委員長からの報告](#)

A cartoon illustration of a young boy with black hair, wearing a blue long-sleeved shirt. He has a surprised or excited expression with wide eyes and an open mouth. Above his head is a glowing yellow lightbulb with three small lines radiating from it, symbolizing an idea or inspiration.

「発明アイデアコンテストに応募しよう！」

参加申し込み：<https://forms.gle/gv4dA9nsdzqw5TCN6>



昨年度本校生徒受賞作品
「ビニールスリ開け君」

また、サイエンスサロンでは、このような活動にご協力いただける保護者を募集しておりますので、ご協力いただける方は総務部（somu@wils.org）までご連絡ください。

【お知らせ】夏休み、侍 JAPAN のヌートバー選手を応援に行こう！（教育人事部）

2023 年、WBC（ワールドベースボールクラシック）で侍 JAPAN チーム野手として活躍したラズ・ヌートバー選手が、7 月にカーディナルスの外野手としてワシントン DC にやって来ます。みんなでヌートバー選手を応援に行きましょう！

7 月 7 日（日）午後 1 時 35 分のプレイボール。ファンドレイズ企画として共同購入するため、普段よりお得なチケットです。試合当日 4 歳から 12 歳のお子さんには、試合終了後に野球場のダイヤモンドを走るイベントもあります。

クラスや学年を超えて、野球好きの生徒と知り合い、友達を作る絶好の機会です。「日本語学校に行けば野球の話もできる！」と、土曜日の日本語学校がより楽しみになるかも？



日時	2024 年 7 月 7 日（日） 午後 1 時 35 分開始の試合
場所	ナショナルズスタジアム
形式	現地集合現地解散
料金	一枚 28 ドル

※ 締め切り日（6 月 22 日）までに申し込みが 20 人に満たない場合は、中止となります。

参加希望者はリンクから詳細をご確認のうえお申込みください。

<https://forms.gle/xBAPshbLt3mYVYf99>

お問い合わせは [コチラ](#) まで。

年中組の募集を再開します（年中組新設検討小委員会）

ワシントン日本語学校年中組は、申し込みの新規受付を一時停止しておりましたが、調整を行い、2 クラス開設を目指して二次募集として募集を再開できるようになりました。



年中組のホームページからご応募ください。 <https://www.wjls.org/nencyu-boshu/>

管理運営委員の募集について（随時）

管理運営委員会では随時委員の募集をしています。お子様の卒業や任期満了による委員退任だけでなく、お仕事やご家族の事情により、当初の予定より早く欠員が出る場合があります。まずは興味のある内容についてお話しできたらと思いますので、お気軽に管理運営委員会（uneiiinkai@wjls.org）までご連絡ください。

毎月行われる委員会では様々な分野で高い専門性を持った委員が各案件に真摯に向き合い、意見を交わしています。本校の強みである多様性を感じたり、新しい学びがあったり、貴重な体験ができることは間違いありません。ぜひ、ご検討ください。学校の組織図・管理運営委員会の役割に関しては、本校ウェブサイトの「本校の組織と運営」のページ（https://www.wjls.org/aboutus/message_from_committee/）をご参照ください。

【報告】永年勤続者表彰式を開催しました（教育人事部）

5月25日に教職員の永年勤続者表彰式が執り行われ、表彰を受けられた方々から心に残るエピソードや今後の抱負などのスピーチをいただきました。本校への長年の多大なるご功績に感謝し、心よりお祝い申し上げます。



日本語学校は私の宝物

ドーシー 愛順

私が日本語学校で教師の道を歩み始めて今年で20年、大きな節目を迎えました。5年、10年、15年と年を重ねる中で出会った多くの先生がたのご指導と、それ以上にたくさんの子どもと保護者に導かれ、努力を重ね、この日を迎えることができました。教育に携わる仕事とは無縁だった私が、この道を歩むきっかけになったのは、我が子の入学で現地校の教育に接し、教育に興味を持ち始めた頃に、ある人からかけられた「日本語学校の先生になったら？」という言葉でした。「運命は偶然よりも必然である」と感じた瞬間でした。心の片隅でくすぶっていた「教師になりたい」という気持ちが、この一言で呼び覚まされ、第二の人生が始まりました。海外補習校で、9人の校長先生と11人の教頭先生に教えを受けたことは幸運としか言えません。恵まれた環境で、自身が考える、より良き教師を目指して来られたことに感謝しています。



20年勤続表彰者
ドーシー 愛順先生

「いい教師」「いい先生」。経験が浅い頃、この言葉に翻弄される時期がありました。今だから言えることですが、がむしゃらに頑張り過ぎて空回りしていた頃でした。しかし、経験を積む中で、性格や考え方がちがう多様な子どもや保護者がいる中で、「いい先生」の基準も多様であって良いと考えられるようになり、胸のつかえが下り、ありのままの自分で良いと思えるようになりました。今の自分は、厳しさの中に優しさやおもしろさが加味できている、と自負しています。教室は、子どもにとって楽しく学べる場、教師にとっても日々変化する学びの場です。だからこそ「一生勉強、一生青春」を心に抱き、生徒と向き合ってきました。最近「教師五者論」という言葉を知る機会があり、私はこの五者（学者・医者・易者・役者・芸者）であれたかと、歩んできた20年を振り返っています。

2020年、コロナ渦でのオンライン授業は、過ぎし日の残念な思い出ですが、これがきっかけで新しい知識や技術を身につけ、転機を好機に変えることができたとも言えます。デジタル教科書を導入したコンピューターを使った授業が当たり前の時代になりましたが、私は今も黒板とチョークで手を真っ白にして教壇に立ったあの日を懐かしく思います。私は日本語学校が大好きです。20年経った今も、わくわくしながら土曜日を待つ自分に驚いています。日本語学校は私の第二の人生そのもの、大切な宝物です。

【永年勤続表彰を受けられた方々】



5年勤続表彰者

（左から）金 吉子さん・ライト 光先生
小林 良久先生・キャンベル 悦子先生



10年勤続表彰者

小野口 典子先生・田中 美紀子先生
ウエスト さおりさん（欠席）



15年勤続表彰者

山内 明美先生
堀 清美先生・杉浦 若奈先生

【報告】特別授業が開催されました

「剣道に親しもう」

1 回目の 5 月 11 日は幼稚部から小学部 4 年生を対象に、不動館剣道&居合道の小池和茂さんと村田敬志さんのお二人を講師にお迎えし、剣道の授業が行われました。生徒たちは体育館に入ると順番に靴と靴下を脱ぎ、少し軽くなった足取りで素早く列を作りました。いつもと違う空気を感じ、期待の表情が浮かんでいます。初めて竹刀や防具を見る生徒たちも多かったようで、今から何が始まるのだろう、と興味深そうに前方に整列している剣士の皆さんに視線を向けていました。



面打ちを説明する小池さんと村田さん

剣道についての講義が始まると、生徒たちは真剣な眼差しでお話に耳を傾けています。その後立ち上がり、素足で冷たい床を感じながら面打ちの基本動作を練習しました。小池先生の「剣道で最も大切なことは、相手に対して礼を尽くすこと。」との言葉を胸に、生徒全員が実際に竹刀を手にして面打ちを体験することになりました。最初は少し緊張した表情でしたが、剣士の皆さんの優しい声かけに、次第に楽しそうな笑顔が溢れ、大きな体育館には生徒たちの元気な「メン！」という掛け声と竹刀の「パーン！」という音があちこちに響いていました。不動館剣道&居合道の剣士の皆さんによる迫力ある実演も見ることができ、体を動かしながら、「礼に始まり、礼に終わる」日本の武道を知る良いきっかけとなったと思います。



面打ち体験をする生徒たち

「科学技術が切り拓く未来社会」

2 回目の 18 日は、在アメリカ合衆国日本国大使館・科学班長の有林浩二参事官が、小学 5 年生・6 年生、続いて中学生、高校生を対象に、一日に 2 度特別授業をしてくださいました。取材に伺った小学生向けの授業では、小学生にもわかりやすい平易な言葉や映像を交えた授業をしてくださいました。最先端技術を社会生活に取り入れた便利な暮らしの実現（Society 5.0）には一人の研究者や一国の力では難しく、沢山の国の有能な人がチームを作り進めていく必要があります。そのために世界を舞台に活躍する人材が求められますが、現在日本では海外に出ていく若者が少ない傾向にあるそうです。有林さんは本校の生徒たちのような日本と海外をよく知り、活躍できる可能性のある人こそ、実現に向かうリーダーとなってほしいと話されました。

また最新情報として、4 月に岸田首相がアメリカを公式訪問した際に、日本の宇宙飛行士 2 名が月面着陸のプロジェクトに参加することが正式に合意され、これにより米国人以外で初めて月面着陸するのは日本人となることを教えていただきました。宇宙については生徒たちの関心も高く、日本が有人月面探査車を提供し、タイヤ技術で日本の技術が生かされることを既に知っていた子もいました。目の前にいる先生が、最新の話をしてくださったことは生徒の心を刺激したようです。興味がどんどん広がって、話を聞きながら生徒たちの目がきらきら輝き、授業に引き込まれていく様がとても印象的でした。質問は次から次に続き、授業が終わった後も名残惜しそうに最後まで質問し続けていた子もいました。



有林さんと講義を聞く生徒たち

DMV 地域には専門性の高い方が多数いらして、今回のように直接お話をしていただける機会があるのは本校ならではの魅力です。講師を務めてくださった皆様、お忙しい中にもかかわらず貴重なお時間を頂戴し、熱心にご指導いただきありがとうございます。沢山の素晴らしい言葉や体験が、生徒たちの心に沁みたまりました。



ワシントン日本語学校

幼稚部 ☀ 年中組 園児募集中



早期お申込み限定
入学金
\$100 OFF
キャンペーン
実施中*

ワシントン日本語学校の幼稚部・年中組が
2024年9月から始まります。

ワシントン日本語学校は日本の文部科学省より認定されたワシントンDC地域の園児、児童、生徒が通う日本語学校です。1958年9月に開校された65年の歴史をもつ世界で一番古い補習授業校です。2024年9月から幼稚部の年中組を新たに設立いたします。年中組では楽しい体験学習を通じて学習をする、日本の文部科学省幼稚園教育要領を元にしたカリキュラムを提供いたします。入学にご興味のあるかたは下記のQRコードからお申し込みください。



*早期お申込み者限定 入学金100ドル オフ キャンペーン実施中（2024年5月18日～6月30日）

6月30日までに8月10日の入学説明会・面接への「参加オンラインフォーム」を提出された方のうち、8月10日に合格され9月7日に入学される方を対象としています。

※本校に第3子として入学される方は入学金が免除されますので、本キャンペーンの対象外となります。

【放課後クラブ】俳句・短歌クラブをご紹介します！

現在日本語学校には放課後クラブが二つあることをご存じですか？放課後に生徒たちが日本語を使って楽しく活動をしています。今回はその中の一つ、俳句・短歌クラブから顧問の先生と生徒の声、受賞作品の一部をご紹介します。興味を持たれた方はぜひ一度体験してみてください。新しい世界が広がるかもしれません。クラブの顧問を務めている関口千亜紀さんにお話をお伺いしました。

俳句と短歌は難しいと思いませんか？私にはわからない、うちの子には無理、と思いませんか？そんな時の俳句と短歌はどんなものなのでしょうか。教科書やテストに出てくる立派だけど難しそうな、かたいものではないのでしょうか。自分とは接点のなさそうなもの。私はここに、俳句と短歌は、自分と世の中を繋ぎ、人生や人間をより豊かに、面白くするものだと言います。



一つの物事や現象を見つめる時、自分一人の見方や表現は限られます。しかし、いい作品に出会うことで、その限られた幅が広がり、新しい接点が生まれます。例をみましょう。冬の冷気の中で吐く息を「自分に一番近い雲」と詠った部員（次頁）がいました。どうでしょう？今度の冬、自分の吐く息を見たら小さな「雲」を思い出しませんか。「雲」を吐き出してみたくありませんか。また、声に出して読んでみることで、日本語のリズムの良さにも気づきます。このように詩の言葉や調べは、読む人に働きかけ、その人の感じ方や生き方を豊かにしてくれるのです。日本語でできることは無限大にあります。勉強だけではありません。こういった日本語の楽しみ方を子供たちに伝えたいと考えています。

日本語学校に通う子供たちは、年齢的に、親には必ずしもわからない、学校が教えてくれない複雑な感情も経験します。そんなとき、学習言語や家庭言語、友達との日常会話としての日本語の他に、自分と向き合い、且つ、日記と異なって、読者と出会う詩的な言語スペースがあることは、本人の強みになります。そういった日本語のスペースは、子供たちを内面から支えながら、自己探求のプロセスを促し、最終的にはアイデンティティの育成に繋がっていく、と実感しています。ぜひ一度見学・体験にいらっしやいませんか？

クラブ部員受賞作品

盆おどり手ふり足ふり夜が来た

(全国児童俳句大会・玖珠町議会議長賞)
山中慧樹 (小2)

たん生日ハさいになるプレゼント

バイオリンひくぼくのみらい

(現代学生百人一首・入選) 松下誠至 (小2)

ランドセル底に見つけたくしゃくしゃの
答案用紙そっと広げる

(斎藤茂吉ジュニア短歌・入選) 横山遙 (中1)



俳句短歌クラブ・顧問

関口 千亜紀さん



俳句・短歌クラブでの活動を振り返って -カルボスキー由莉香（2022 年度卒業生）-



私はワシントン日本語学校俳句・短歌クラブに小学6年生の時に入部しました。当時、詩はかたいものだと少し苦手意識を持っていましたが、4年生の時に国語の授業で俳句を読んだ時は楽しかったことが印象に残っており、入部を決心しました。クラブで行った季語のブレーンストーミングや俳句の穴埋めゲームを通して、詩は沢山のひとと一緒に楽しみ、共有できるものだと初めて実感しました。部員の皆さんと先生と一緒に外で季節を感じながら創作した時間は尊い思い出です。クラブ活動によって詩は少し苦手という気持ちから心から楽しいという気持ちへと変化していきました。詩を好きになったので、今では、現地校の授業で詩を読む時も前向きに取り組むことができます。

そして俳句と短歌は私にとって日本語と英語の架け橋になっています。日本の伝統的な詩の形式を用いて英語で句を書く時に自分と深い繋がりを感じます。現地校で日本の詩を共有したいと思い、俳句クラブを設立しました。活動内容としては部員が書いた俳句をインスタグラムに投稿したり、春にワシントン DC にお花見へ行き、外で俳句を書いたりしています。秋からウェルズリー大学に進学しますが、大学でも俳句クラブを作りたいと思っています。

最近ではメモを取るように俳句と短歌を書くのが好きです。日常生活の中で気付いたことや感じたことを俳句や短歌として残すことで、ゆったりとした時間が流れます。これからの人生、ずっと大切にしていきたいと思える趣味を持つことができて幸せです。ワシントン日本語学校俳句・短歌クラブへ感謝の気持ちでいっぱいです。



カルボスキー由莉香さん

受賞作品

白い息自分に一番近い雲

（第37回全国児童生徒俳句大会・玖珠町長賞）

17年眠ったセミが出てきたよ誰も寂しくならないように

（第8回福岡女学院短歌コンクール・海外特別賞）

星型のオクラを並べそうめんとからませ作るミニ流星

（第49回佐佐木信綱祭短歌大会・凌寒荘賞）

最近の作品

何粒も海には月が潜んでる真珠身につけふと思う朝

好きな色沢山あっていいんだと十二単が話しかけてる

俳句短歌クラブへのお問い合わせは [〈haiku.tanka@wjls.org〉](mailto:haiku.tanka@wjls.org) 関口）まで。お待ちしております。

委員長からの報告



皆様、こんにちは。今日を含め後3回授業が終わるともう夏休みですね。日本では5月の終わりに台風1号が発生し、雨を降らせたということでした。台風が5月なんて早いな、と思いましたが、台風発生に着目すると、実はこれは統計を取り始めた1951年以降7番目の遅さなんだそうです。台風が日本を直撃するのは7月以降が多いですが、それとこれとは話は別、ということのようです。勉強になりました。

5月に行われた授業参観の際には、日本語話者、英語話者にかかわらず、大勢の保護者の皆様がお越しくださいました。4年生の授業後、英語話者のお父さん同士で「何を学んでいるか全くわからなかったよ」「キューピーのマークがあったね。あれはマヨネーズの会社だから何かマヨネーズに関係する内容だったのかも」と話しているのを耳にしました。授業の内容はわからなくても、お子さんの頑張りを応援しようと、授業参観に来てくださるその姿勢がとてもありがたいと思いました。

今月の管理運営委員会では、6月中に退任する委員の後任として、新たに2名の委員が就任することが決まりました。また、秋の運動会では、運営委員会と保護者によるお手伝いが欠かせませんが、今年度は更に新しい会場での実施となります。そこで、お手伝い体制を強化することと、効率的な支援体制を検討するための小委員会設立も決定しました。

耳にたこができるくらい何度も聞かれていることかと思いますが（くどくて申し訳ありませんが）、ワシントン日本語学校では、日々の学校運営や様々なイベントにおける保護者の皆様のご協力が不可欠です。引き続き、保護者の皆様からの温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



委員長：	栗原美恵
副委員長：	牛嶋 崇
総務部：	松林拓磨（部長）・足立智子・大杉真名美・鶴見圭祐・松田真実
財務部：	グリフィン尚美（部長）・生島奈美
教育人事部：	大島由美子（部長）・ジャコブソン彩子・羽田真実子・松山徳子・向山こずえ
広報部：	竹内由美（部長）・ワイズ洋子
学年代表：	大島千枝（低学年代表）・シーブルック留実（中学年代表）・大鶴絵里（高学年代表）

